

2019 ティータイム通信

2

発行／
建設許可(般-27)16806号
(財)住宅保証機構登録店
人にやさしい家づくり

株式会社 **みのりホーム**
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-976-0047
[HP] [みのりホーム](#) [検索]
[E-mail] minori@minori-group.com

一級建築士事務所 第3021号
日本増改築産業協会 正会員

株式会社 **栗田工務店**
松山市福音寺町40番地1
Tel 089-993-7555
[HP] [栗田工務店](#) [検索]
[E-mail] kurita39@lilac.ocn.ne.jp



薪ストーブでピザと焼き芋を作ろう!

薪ストーブ体験会

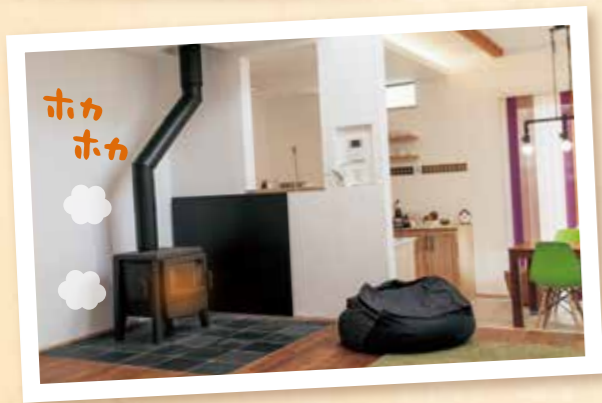


in無添加住宅

2/9(土) 10(日) 11(月) 祝

- 場所 無添加住宅 モデルハウス
- 時間 10:00~17:00

今の季節、大活躍の薪ストーブを活用して、
ピザと焼き芋を作ります!冬を楽しむ知恵を
体感してみませんか?お気軽にご参加ください!



優しい空気に包まれる家
モデルハウスOPEN!!
時間/10:00~17:00
会場/松山市北久米
〒790-0923 松山市北久米町204番1



人にやさしい家づくり
株式会社 **みのりホーム** Tel.089-976-0047
1級建築士事務所登録 第2896建設許可 (般-27)16806号 (財)住宅保証機構登録店

土 日 祝 毎週公開
時間/10:00~17:00 **予約不要**

みのり 知恵袋通信

こちらのコーナーでは毎月、生活に役立つちょっとした小ネタをご紹介します

● 風邪かな?と思ったら

■ 寒気がするときは…焼き梅干し茶



のどが痛く、寒気がするときなどは、梅干しを2~3個焼き網にのせ、弱火で焦げないようによく焼いて、熱いお茶を注いで飲むと、汗が出やすくなって、症状が早く治ります。
焼き網がない時は、オーブントースターやグリルで焼いてもよいでしょう。梅干しの数は、塩分の濃さによって加減してください。

■ 風邪退治の定番レシピ…卵酒

昔から、風邪にいいと言い伝えられてきたのが卵酒です。
卵1個を耐熱容器に割り入れ、日本酒100cc弱を注ぎ、湯せん(鍋に湯を沸かして弱火にした中に、卵と日本酒を入れた耐熱容器を入れる)しながらかき混ぜて温めたものを、寝る前に飲みます。鍋に直接卵とお酒を入れて火にかけると卵が固まってしまうので、湯せんをしないと卵が固まりません。飲みにくい場合は、少し砂糖を入れてもいいようです。



みのり商会 自社分譲の報告

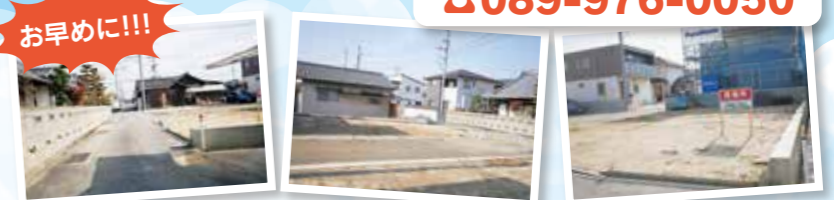


現在、弊社では久米窪田町、水泥町、東温市田窪で分譲地を行っています。自社分譲地につき、仲介手数料不要となります!価格や販売状況につきましては、その都度みのり商会までお問合せ下さい。

お問合せ先 株式会社 みのり商会
☎089-976-0050

● 久米窪田町 ● 全6区画 ● ラスト1区画

閑静な住宅地でありながら、国道11号線へのアクセスも良く、近くの北窪田公園はお子様の遊び場に最適です。既に造成工事完了していますので、あとは建てるだけです!



● 水泥町 ● 全3区画 ● 受付開始!!

小野小学校の近くで造成中。バス停まで徒歩1分、平井駅まで徒歩10分の利便性の良い場所です。着々と造成工事が進んでおります。



● 東温市田窪 ● 全4区画 ● 残り2区画

人気の南吉井小学校の近くで行っています。牛淵駅まで徒歩10分と交通の利便性も良いところでありながら、周りには田んぼがあり、のどかな田舎暮らしができます。きれいに造成工事完了しています。



知っ得! 不動産

売却で仲介業者を利用するメリットとは?

不動産取引には、さまざまな専門知識やノウハウが必要です。経験を生かした各種交渉や法律を守った契約の締結など、知識を必要とする手続きは多岐にわたります。仲介業者に依頼すれば、それらを1から学ぶ必要はありません。
売却の際は、物件の特性や地域性を加味した販売活動で購入希望者を効率的に探せて、内覧の調整や契約、決済などの対応も適切に行ってもらえます。そのため、スムーズな不動産

取引へと導いてくれるというわけです。
個人で行う場合は、買主との契約条件が折り合わずトラブルに陥る可能性もあります。売り時を逃してしまい、売却価格を大幅に見直すこともあるでしょう。大きな資産である不動産を売却する際には、仲介手数料を支払ってでも業者に依頼した方が、最終的にはコストを抑えられる場合も。仲介業者は不動産取引の専門家であり、手数料は専門家への相談料でもあるのです。

やわらぎ便り

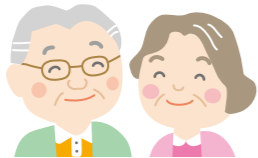
ー本日はお日柄も良くー

「今日は特別じゃないかい。」「いつも通りでございます。」
「ああそうかいそうかい。」

いつも通りといつも通りでないことが入り交じって日々が繰り返される。突然にまたは少しずつ介護を必要とする日がやって来た人を前にして。私たちはどんな姿勢で向かい合えばいいのでしょうか。

“あなたはどんな介護がしたいですか。”と聞かれて、“笑顔になって貰えるような”とか、“ありがとうって言ってもらえるような”とかよく聞く。果たして我々介護職は笑顔でそしてありがとうの心でその言葉をどのくらい伝えているだろうか。お年寄りの力を発揮してもらえる場面を創ることができているでしょうか。

「私は褒められると伸びるタイプなんです。」なんて冗談か本心なのか、アツカマシ事を言う人にこの仕事の真剣味を感じない。大切なものを犠牲にしてとか比較するようなことを言っているわけではない。バランスはとも必要で常に一定ではないので厄介な時もあれば安定する時もあると言う事。但し選択を迫られる時に損得で考えてしまうと進む方向の景色



有限会社やわらぎ
田村富美子



が変わる。この介護の仕事を選択した仲間とは同じ景色を見たいと思う。それをチームワークと表現する場合もあるが、忘れてならないのは介護の受け手と担い手の関係のみで進まない事。深刻になりがちなのはユーモアの精神をもって乗り切ること。大切な事には継続する力を身に付けること。強く思います。

この頃、続けて事業所に対してお褒めの言葉を頂戴しまして、我々職員がアップアップするほど目まぐるしい日々が続いているけれどよく笑ってます。お年寄りも職員もいっしょに、朝から大笑いしている声が外にも響いています。そんな時に必ずのようにお年寄りから“笑う門には福来る” 職員が慌てていると、これまたお年寄りから“急がば回れ”ナイスフォロー。身体の拘縮が進むお年寄りに痛くないですか、大丈夫ですか、なんて当たり前のように言葉をかけても負担がかかっているのは表情で解る。そんな時、お年寄りから「他に気の利いたことが言えんのかい」絶句しそうになりながら、“本日はお日柄も良く”傍にいる者にしか聞こえないような声で笑い声が。当たり前のようにやっていることって本当に気の利いたことになっているのだろうか。この続きはやわらぎのブログでお目にかかることになるかもしれません。本年もよろしくお願いたします。

ホームページ <http://www.yawaragi-ehime.com/>

現場からの便り



担当 是澤

祝！上棟

久万ノ台にて先日上棟しました。

雨の合間の見事な晴天に恵まれ、無事上棟することができました。



担当 松岡

思い出づくり

無添加漆喰塗の際にお施主様に来ていただいて手形を押しました。

お家づくりの思い出になるのでおすすめです。

漆喰が乾いた後に飾り付けをする予定です。



無添加大好き！
私の住まい

健康へのこだわりが
決め手となりました

1様邸

「家族にアトピー性皮膚炎の症状があって、家の中の空気はとても気になってました」とI様。さらに「今はたしかに、健康や自然素材を売りにする住宅会社が増えましたけど、内容はどこもどんぐりの背比べでしたね」と続けます。かなりの住宅会社を回られたとのことでした。

そんな時、聞いたのが無添加住宅の話。「今まで聞いたことのない話ばかりでした。健康への意識が他社とは比較になりませんでした。ようやく理想のパートナーに会えた！って感じてでしたね」と家づくりを決意されました。テーマは、自然素材を最大に活かした健康な家。

まず、外観は周辺の環境とも調和を意識し、漆喰壁に錆び御影石の石貼りと、木の質感がやさしい丸みをおびたバルコニーでとても個性的なものに。LDKはまず、壁付けとアイランド型のセパレートタイプ。「見た目よりはとて

も動きやすいんですよ」と機能性もバッチリ。隣接の和室には掘りごたつで畳の周りには無垢の床材が張っており、それだけで上質な空間となっています。

そしてウッドデッキ。大開口のサッシを使い、とっても開放的です。まさにリビングと一体化していて、「セカンドリビングのように使ってます。お友だちもここが気に入っていて、女子会やティーパーティには絶好のロケーションです」と奥様も大満足です。気になるアトピー性皮膚炎も改善したそうです。



栗田工務店 ビフォー・アフター 安心・安全・快適リフォーム！
施工例 松山市 1様邸

今月の Before→After 洗面所改装工事 完成!!



老朽化により収納を作り変えたいとのご依頼があり、改装となりました。数ある見本より、施主様ご希望の木柄を選びました。洗面化粧台も高級感のあるものへとご希望でした。工事後はとても満足して頂け、大変嬉しいお言葉もいただきました。



担当 栗野

●お問合せは 株式会社 栗田工務店 ☎ 0120-70-1516

むてんがニュース Letter

間違いだらけの日本の住宅!?

阪神淡路大震災に学ぶ！
ー地震に強い家、弱い家

1995年1月17日、大震災のその日、私は発生源のど真ん中である西宮市に住んでいました。地震で破壊された数多くの家を見て、建築に携わる者として、地震に強い家と弱い家をつぶさに観察することが出来ました。そして地震に強い弱い家は家の型



がとても大切だということも強く感じました。いくら杭を打っても液状化した土地では何の役にも立ちませんでした。そしてこれを今後の歴史的な事実として後世に伝えていくとともに、今後の家づくりに反映していきたいと思ったのです。

震災の朝、私は当時6歳の娘と一緒に和室で寝ていましたが、ドカンという音で目を覚ました。その時タンスが倒れたのですが、幸いなことにそれがもう一つのタンスに引っかかって空間が出来、運よく助かりました。

家の外に出ると目を疑う光景が広がっていました。その翌日、神戸の親戚の家に行くことほとんどの家がつぶれていました。長田という地区は火事の被害がすごかったと聞いていたので、そこの弊社が建てた家を見に行きました。その家と隣地の大手Tホームの家の2軒だけが残っていましたが、驚いたことにTホームの家の2階が45度ほどずれているのです。

大手でもこんな風になるなんて…。次回は、さらに専門的に地震に強い弱い話を話していきます。